

⑪ ハンズオンサイエンス

サイエンスプロジェクト 中山彰一郎

● いろいろな実験

● 体験の手順

- (1) 皿回しにチャレンジしてみましょう
- (2) 金属線が触れ合うと音が鳴る。音を鳴らさずにゴールできるかな？
- (3) バケツから音が聞こえてくる？
- (4) ロープを引いて、ブランコを揺すってみよう

● かいせつ

- (1) お皿を棒の先で回してみる。すると、お皿の回るスピードが速くなるほど安定して回ります。スピードがつくまではお皿のフチを、円を描くように回します。お皿が早く回ったら、棒を止めてもお皿が回り続けます。早く回転している物体は、回り続けようとするからです。



はじめはお皿のフチを棒の先に乗せて・・・

- (2) 金属線が触れ合うと、信号が伝わってインターホンが鳴ってしまいます。持ち手の部分とコースの部分がくっつかない様にゴールを目指してください。
- (3) スピーカーは振動板というものを震わせることで音を広げています。この振動板の代わりに、バケツを使ってみました。電気の信号がコイルを通り、電気と磁石の力で信号がバケツに伝わると、バケツが音を広げます。
- (4) 自分でブランコに乗っているときは簡単にブランコを速くできますが、ロープで引くと難しいですね。ブランコに乗っている時をイメージして、速く引いたり、ロープを緩めたりしましょう。

● 気を付けよう

実験によっては、引っ張ったり、バランスを取ったりと動きます。周りの人に気を付けて実験しましょう。

● くわしく調べよう

URL: <http://blog.goo.ne.jp/science-project>

私たちの活動や、実験を紹介しています。ご覧ください。